

2 故斎藤駐米大使の遺骨送還

1190

昭和14年2月27日

在米国堀内大使より
有田外務大臣宛電報)

斎藤大使の逝去を悼む米国紙論調報告

ワシントン 2月27日後発

本 省 2月28日前着

第一六四號

二十七日各紙ハ一齊ニ故斎藤大使薨去ノ記事ヲ掲ケ何レモ率直淡白ニシテ溫雅ナリシ故大使ノ遺徳ヲ忍ヒ故大使カ大統領以下政府要路者其ノ他一般米國人ニ知已多ク米國々民性ヲ能ク理解シ其ノ在任中日米關係多端ナリシモ機宜ヲ得

タル措置ニ依リ能ク兩國關係ノ惡化ヲ防キ殊ニ「パネー」號事件ヲ圓滿解決ニ導キタル功績ヲ多トシ又「ハル」國務長官ハ新聞ニ「ステートメント」ヲ與ヘ故大使ノ薨去ヲ悼ミ故大使カ理解ト同情ヲ以テ日米友好關係ノ爲ニ盡力シタ

ルコトヲ述ヘ又在米英國大使、聯邦準備局總裁「エクルス」其ノ他當地政府高官、外交團關係者カ故大使ノ薨去ニ

對シ哀悼ノ意ヲ表シタルコトヲ報シ紐育「ヘラルド・トリビューン」ハ特ニ社説ヲ掲ケ今次日支事變以來米國ノ對日本感情惡化シ日本ノ對支行動ヲ出來得ル限り辯護スルコトハ故大使ノ任務ナリシカ右任務ハ「パネー」號事件其ノ他刺戟的事件ノ發生ニ依リ益々困難トナリタリ故大使ハ各方面ニ於テ敬愛セラレ殊ニ紐育總領事時代ハ極メテ「ポピュラー」ナリキ故人ハ愛國者タリ且學者タルト同時ニ頗ル愛スヘキ紳士ニシテ彼ノ立場ノ困難ナリシハ彼ノ罪ニアラサリシナリト論セリ

英へ轉電シ在米各館へ郵送セリ

英ヨリ在歐各大公館へ郵送アリタシ

1191 昭和14年2月28日 在米国堀内大使より
有田外務大臣宛(電報)

斎藤大使告別式の模様につき報告

ワシントン 2月28日後発

本省 3月1日後着

第一六七號

齋藤大使ノ告別式ハ二十八日午後三時大使官邸ニ於テ行ハ

レ國務省ヨリ「ハル」長官(風邪引籠中)代理「モーア」、

國務省顧問「ホーンベック」顧問其ノ他關係官並ニ外交團

ヨリ殆ント各國大公使ヲ網羅シ外人側約百五十名、紐育及

華府主要在留邦人約二百名參列正ニ立錐ノ餘地ナキ裡ニ故

大使生前親交アリタル「ジエー、アーミステツド、ウエル

ボーン」牧師ノ祈禱並ニ追悼ノ辭、本使弔辭ノ後一同告別

ヲ行ヒ滯リナク式ヲ終リ遺骸ハ「セダー、ヒル」火葬場ニ

テ荼毘ニ附シタリ

大統領、國務長官、平沼總理、西園寺、近衛兩公爵ヲ始メ

内外ノ知友ヨリ送ラレタル花環二百以上ニ達シ式場ヲ埋メ

タリ

此ノ日紐育「タイムス」、華府「ポスト」、同「イヴニン

グ、スター」、「ボルチモア、サン」等ハ夫々、社説ヲ掲ケ

故大使力能ク米國ノ國情、人情ニ通シ米人間ニ親友多ク日

米間ノ了解増進ニ貢獻セル功績鮮カラス事變以來殊ニ「パ

2 故齋藤駐米大使の遺骨送還

ネイ」號事件ニ際シテノ機宜ノ處置ハ推稱ニ値ス同氏ノ死

ハ日米双方ニ取り損失ナリトノ趣旨ヲ述ヘタリ

英ヘ轉電シ在米及中南米各館へ暗送セリ

英ヨリ在歐各大公使ヘ郵送アリタシ

~~~~~

1192

昭和14年3月1日 在米国堀内大使より

有田外務大臣宛(電報)

故齋藤大使の遺骨を米国海軍軍艦で日本まで

移送したいとの米国大統領提議について

ワシントン 3月1日後発

本省 3月2日前着

第一六八號(大至急)

一日「ウエルズ」國務次官ノ求メニ依リ本使往訪シタル處

同次官ハ大統領ハ海軍ニ對シ故齋藤大使ノ遺骨ヲ日本迄送

ル爲Heavy Cruiser一隻ヲ日本大使館ノ使用ニ供スル準備方

内命シタル旨ノ報ニ接シタル處右申出ハ日本政府ニ於テ受

諾セラルルヤ至急承知シタシト述ヘ尙右ハ故大使ニ對スル

大統領ノ友情ト同時ニ日本ノ外交代表ニ對スル敬意ヲ表ス

ルモノナル旨述ヘタルニ付本使ハ大統領ノ御取計ハ日本政

府ニ於テ故大使ニ對スル名譽タルノミナラス日本ニ對スル非常ナル友好的表示ト受取ラルヘキヲ確信スルモ早速本國政府ヘ電報ノ上改メテ回答申上クヘシト答ヘ置キタリ尙本使ノ問ニ對シ此ノ申入ノ次第ハ大統領自ラ發表サルルコトト思フニ付夫レ迄内密ニセラレタント述ヘタリ

本件米政府ノ申出ニ對シテハ帝國政府トシテ折返シ受諾ノ旨確答シ度キニ付大至急御詮議ノ上御電訓ヲ請フ

1193

昭和14年3月4日 在米国堀内大使より

有田外務大臣宛電報

故齋藤大使遺骨送還に関する米国大統領提議

の政治的意義について

ワシントン 3月4日後発  
本 省 3月5日後着

第一八二號(極祕)

今回米國政府カ故齋藤大使ノ遺骨移送ノ爲特ニ軍艦派遣方申出テタル事情ヲ考察スルニ其ノ間多分ニ政治的意義ヲ含ムモノト思考セラル元來米國ノ慣例トシテ此ノ種「カーテシー」ハ現任外國大使死去ノ場合ニ示サルヘキモノナルニ

拘ラス齋藤大使ハ離任シタルモ病氣ノ爲當國滯在中ニ死去セリトノ理由ニテ右ノ場合ニ準スル特別ノ取計ヲ爲シタルハ素ヨリ故人ニ對スル大統領始メ朝野ノ深キ敬愛ニ依ルモノナルヘキト同時ニ往年「ガスリー」、「バンクロフト」兩大使死去ノ際ノ我方取計振ニ照應セシメントスル故大使知友等ノ側面的斡旋モ大イニ與ツテ力アリタルヘシト思ハルモ米國大統領始メ政府要路ニ於テハ今日ノ如ク甚タシク悪化セル對日空氣ニ拘ラス特ニ前顯ノ如キ慣例ノ寛大ナル適用ヲ決定スルニ至リタルハ正シク政治的考慮ヲ加ヘラタルモノト見ルヘク殊ニ米國海軍部内ニ於テハ今尙「ペネイ」號ヲ以テ我出先ノ故意ニ基クモノニアラスヤトノ疑惑ヲ懷キ日本ニ對シ釋然タラサルモノアル事情ニ顧ミ今回ノ米國側決定ニ相當英斷ヲ要シタルヘキハ想察ニ難カラス要スルニ今期議會ノ劈頭ニ於ケル大統領ノ所謂「デモクラシ」國擁護ノ積極的外交方針ノ聲明以來對英佛飛行機供給問題、「グアム」防備問題等議會内ノ激シキ論争ヲ誘起シ當國輿論ノ一部ニハ右ヲ以テ危險ナル外交方針ト爲シ反對ノ聲相當強ク對日關係ニ於テモ稍行過キタリトノ感觸生シツツアルヤニ認メラレ旁政府ニ於テハ此ノ際何等力一轉機ヲ

捉へタシトノ政治的考慮ヲ加ヘタルモノカト觀測セラル

就テハ我方トシテモ日支事變ニ伴フ機微ナル國際關係ノ大

局ニ鑑ミ日米關係ノ大乘的打開ヲ策スルノ見地ヨリ米政府  
今回ノ友好的表意ヲ活用シ既往ノ行懸ヲ棄テテ我國民的友  
誼ヲ表示スルコト望マシク米軍艦ノ勞ヲ犒フカ如キハ申ス  
ニ及ハス日米關係好轉方ノ具體的措置ニ出テラル様致度  
ク例ヘハ在支米人關係諸懸案ノ如ク思ヒ切ツタル解決處置  
ニ出テラルニ於テハ局面打開ノ機運ヲ釀成スルト共ニ一  
面英國ヲ牽制スルコトナリ延イテ英、米離間ニ導クノ結  
果トナルヘク思考セラル

以上ハ既ニ御考慮ニ上リ居ル儀トハ察スルモ特ニ電稟ス  
英ヘ轉電セリ

1194

昭和14年3月4日 在米国堀内大使より  
有田外務大臣宛(電報)

故斎藤大使の遺骨移送船を巡洋艦アストリア  
号に決定した旨米国務省通報について

ワシントン 3月4日後発

本 省 3月5日後着

第一八六號

往電第一八一號ニ關シ

四日國務省ヨリ巡洋艦ハ Astoria ニ決定我方ニ都合惡カラ  
サレハ三月十八日ニ「アナポリス」海軍兵學校沖合ヨリ出  
發スルコトニ定メタキ旨申越セルニ付斎藤夫人ノ意嚮モ確  
メノ上差支ナキ旨回答シ置キタリ尙本邦到着ハ四月十七、  
八日頃トナルヘキ處(入港地點)到着ノ日及時間ハ出來得  
ル限り我方ノ希望ニ副ヒ「アジャスト」スヘキニ付通報ア  
リタキ旨申出テタルニ付右(及)ニ付何分ノ儀御回電アリ  
タシ

1195

昭和14年3月7日 在米国堀内大使より  
有田外務大臣宛(電報)

アストリア号への日本海軍の連絡士官同乗は  
日本国交の大局から断念すべき旨意見具申

ワシントン 3月7日前發

本 省 3月7日夜着

第一九〇號（至急、極祕）

貴電第八三號ニ關シ

陪柩者兼聯絡員トシテ帝國海軍士官一名同乗方ニ付テハ加瀬（須磨ハ講演旅行中）ヲシテ御訓令ノ趣旨ニ依リ四日以來三度國務省係官ニ懇談セシメタル處前例アルコトモ承知シ居リ又日本側ニ於テ聯絡上海軍將校ヲ便乘セシムルヲ便宜トセラル點モ能ク了解スルモ何分大正十四年「バンクロフト」遺骸送還當時トハ日米間ノ空氣異リ居リ此ノ種問題ノ取扱ニハ最モ慎重ナル政治的考慮ヲ必要トスル次第二シ

テ萬一日本ニ好意ヲ持タサル分子ニ於テ之ヲ免ヤ角問題ト

スルコトモアラハ折角兩國關係好轉ニ善用セント希ヒ居ル

今回ノ「ヂエスチユア」ヲ「スポイル」スルコトトナリ

眞ニ遺憾ナルニ付本件ハ此ノ上固執サレサル様衷心希望ス

ト繰返セル趣ニテ右ハ諸般ノ狀況ヨリ判斷スルニ係官ニ於

テ當局ト話合ヒタル上ノコトト認メラル依テ此ノ際正式ノ

申入ヲ爲スモ恐ラク結局斷ハリ來ルニ相違ナク斯ケテハ甚

タ面白カラサル結果ヲ招クヘキヲ慮ル元來米政府今回ノ申出ハ全ク前例ニ依ラサル好意的措置ニシテ往電第一八二號

申進ノ通り帝國政府ニ於テ大局的見地ヨリ之ヲ政治的ニ活

用セラルコト望マシキニ付本件ハ我方ニ於テ此ノ上固執セサルコト機宜ニ適スヘシト信ス

因ニ去ル四日小林海軍武官ハ米海軍省ノ日本係官「クレトン」中佐ト非公式ニ詰合ヒタル際ニハ「ク」ハ同人トシテ差支ナシト考ヘラル旨ヲ述ヘタルモ武官ヨリ海軍部内トシテノ意嚮ヲ確報方求メ「ク」一旦之ヲ承諾セルモ未タニ返事シ來ラサル趣ナルカ右ニ鑑ミルモ國務省側ノ意嚮回示ハ海軍側ト聯絡ノ上ト判斷セラル

1196  
昭和14年3月11日

在米國堀内大使より  
有田外務大臣宛（電報）

### 米国大統領の故齋藤大使への弔意に対し謝意

#### 表明について

ワシントン 3月11日後発

本 省 3月12日後着

第二〇四號

故齋藤大使ノ長逝ニ對シテ表セラレタル好意ヲ謝スル爲十  
一日正午「ローズベルト」大統領ヲ訪問シタル處大統領ハ  
其ノ書齋ニ於テ何人ヲモ混ヘス極ク打解ケタル態度ヲ以テ

會談セラレタルカ先ツ最初ニ大統領ヨリ斎藤大使ノ長逝ハ非常ナ「シヨツク」ナリシ旨述ヘラレ本使ヨリ故大使告別式ノ際ハ「ホワイトハウス」ヨリ花環ヲ供サレ大統領夫人ニハ特ニ斎藤夫人ヲ訪問サレ殊ニ故大使ノ遺骨送還ノ爲軍艦派遣ヲ大統領カ申出テシメラレタル重々ノ懇篤ナル取計ハ故大使及遺族ニ取り名譽ナルハ勿論日本ニ對スル友情ノ表示トシテ我政府及國民ノ感謝シ居ル所ナリ斎藤夫人ハ大統領夫人ノ親切ナル御言葉ニ深ク慰メラレタリト承知スル旨述ヘタル處大統領ハ實ハ先般海軍大演習統監ノ爲南方ニ赴クニ先立チ斎藤氏ノ容態ヲ尋ネシタルニ經過良好ト聞キ喜ヒ居タルカ急逝ノ報ヲ聞キ驚キタリ  
自分ハ故大使ノ人柄ニ友愛ノ情ヲ持チ居タルカ多クノ他ノ人モ同様ニシテ軍艦派遣ハ日本ニ對スル友情ノ表示ナルト同時ニ自分ノ斎藤氏ニ對スル「トリビュウト」ナリト言ハレ尙斎藤夫人ニ付テハ數年前櫻ノ季節ニ「ボトマツク」ヲ「ドライブ」シ居タル際丁度同夫人力日本服ヲ着テ櫻祭ニ參加シ居タルニ出會ヒ誠ニ美シキ光景ナリシコトヲ記憶スト言ハレ夫レヨリ櫻ノ話ニ移リ「ジエファソン」ノ「メモリアル」ヲ建テル爲先般千本モ櫻ノ木ヲ切ルトカノ噂傳ハ

リ太夫人團體ニ於テ問題ニシタルコトアリタルモ實際ハ約二百本許リ切りタルノミニテ其ノ代リニ約千本新ニ植工ル様命シ居ル次第ナリ自分ハ東京市ヨリ櫻ヲ贈ラレタル好意ニ酬ユル爲亞米利加ノ特色タル「ドツグウツド」ヲ東京市ニ送ラセタント思ヒ居レリト言ハレタルニ付本使ヨリ實ハ先年本邦ニ來遊セル「ガーデン、クラブ」ノ婦人連ヨリ數百本ノ「ドツグウツド」ヲ送ラレ良ク成長シ居ル様承知スト述ヘタル處夫レハ喜ハシキコトナリト言ハレ終リニ臨ミ大統領ハ軍艦派遣カ故大使ニ對スル「トリビュウト」ナルコトヲ繰返サレ本使ハ日本政府ノミナラス國民ノ感情ヲ代表シテ本日親シク謝意ヲ表スル機會ヲ得タルコトヲ幸トスル旨述ヘ辭去セリ

1197

昭和14年3月13日 在米国堀内大使より

有田外務大臣宛(電報)

## アストリア号行程を米国國務省通報について

ワシントン 3月13日後發  
本 省 3月14日後着

貴電第九三號ニ關シ

紐育へ轉電セリ

國務省ヨリ左ノ通り回答越セリ

(一)「アストリア」ハ四月十七日午前九時横濱ニ入港ス(軍艦ノ入港許可申請ノ手續ハ從來ノ形式ニ從ヒ在京米大使館

ヲ通シテ採ラシメタリ)

(二)「ア」號ハ三月十八日「アナポリス」出發二十二日「パ

ナマ・ゾーン」入航二十三日同「ゾーン」出航四月四日

「ホノルル」着六日同地發横濱ニ向フ

(三)横濱ニ四月十七日ヨリ二十六日迄碇泊ノ豫定

リ我海軍當局へ通報方手配濟

(五)「ア」號ニ於テハ適當ノ「デツキ・コンパートメント」ヲ提供シ大使ノ遺骨ヲ安置シ航海中「ガード・オブ・オナー」ヲ附ス(横濱到着ノ上ハ士官二十名兵百名カ「エスコート」シ上陸スル手配ノ趣尙米側ニ於テハ現官ノ大使力任地ニ於テ喪クナリタル場合ト事實上同シニ取扱フ趣)

(六)「アナポリス」出港當日ノ儀禮其ノ他ニ付テハ一兩日中

詳細ニ電報ス

1198 昭和14年3月18日 在米國堀内大使より  
有田外務大臣宛(電報)

### 故齋藤大使遺骨のアストリア号までの移送状

#### 況につき報告

ワシントン 3月18日後發  
本 省 3月19日後着

#### 第二二五號

#### 往電第二二一號ニ關シ

齋藤前大使遺骨ハ十八日午前十時靈柩車ニ遷シ米國歩兵一小隊ノ捧銃裡ニ靈柩車ヲ先頭ニ遺族、國務省代表「サマリン」儀典部長、「ハミルトン」極東部長、「バランタイン」同次官<sup>(長方)</sup>、本使外館員、陸海軍武官、紐育總領事、紐育及華府在留邦人代表等四十五名護衛ノ下ニ「アナポリス」海軍兵學校ニ向ヒ同十一時十五分同地着冒頭往電ノ次第ニテ滯リナク儀式ヲ了ヘ「アストリア」ハ十二時半拔錨セリ

英、伯、巴奈馬、「ホノルル」へ轉電シ加、墨、在京各館へ郵送セリ

英ヨリ在歐各大使ヘ伯ヨリ南米各大公使ヘ夫々郵送アリタ  
シ

敬ノ爲飛翔セリ尙巴奈馬ニ於ケル狀況ニ就テハ大谷代理公  
使ヨリ別ニ電報ノ答  
米ヘ轉電セリ

1199

昭和14年3月22日 在パナマ大谷(弥七)臨時代理公使より  
有田外務大臣宛(電報)

### アストリア号船内において米国側が示した遺

#### 骨への丁重なる待遇振りについて

パナマ 3月22日後発

本省 3月23日後着

澤田次官ヘ「アストリア」艦上北澤書記官ヨリ

十八日「アンナポリス」出帆後平穏ナル航海ヲ續ケ二十二

日巴奈馬ニ到着二十三日出發ノ豫定、出帆迄ノ状況ハ在米

大使館ヨリ電報ノ通リナルカ艦上ニ於テハ故大使ノ靈柩ハ

甲板上ノ黒布ヲ以テ張リ圍ラサレタル一室ニ安置セラレ晝

夜ノ別ナク護衛兵ニ依リテ護ラレ艦長其ノ他乗組員ハ常ニ

喪章ヲ附シ弔意ヲ表スル等鄭重ナル待遇ヲ受ケ二十二日朝

巴奈馬運河東端ニ達スルヤ附近ノ「ドレセツブス」陸軍砲

臺ハ靈柩ニ敬意ヲ表スル爲十九發ノ禮砲ヲ發射シ尙「ココ

ソロ」海軍航空根據地所屬ノ九機ヨリ成ル巡邏航空隊ハ表

## 2 故斎藤駐米大使の遺骨送還

1200

昭和14年4月6日 在ホノルル水沢(孝策)總領事より  
有田外務大臣宛(電報)

### ホノルルにおけるアストリア号の動向報告

ホノルル 4月6日後発

本省 4月7日夜着

第二七號

(一)軍艦「アストリア」四日午前九時半半旗ヲ掲ケ「ホノル

ル」港ヘ入港セリ帝國特務艦石廊始メ在泊中ノ艦船悉ク

半旗ヲ掲ケテ之ヲ迎フ(「アストリア」乗組士官全員喪章

ヲ附シ居レリ)港外沖合ニ驅逐艦二隻出迎ヘ(飛行機六臺

出迎ノ豫定ナリシモ天候不良ノ爲取止トセリ)陸上「ア

ームストロング」兵營ヨリ十九發ノ禮砲ヲ發射セリ同艦

棧橋繫留ト共ニ本官工藤副領事帶同非公式ニ訪艦艦長

「ターナー」大佐及北澤書記官二面會碇泊中ノ「プロダ

ラム」ニ付打合ヲ遂ケ次テ午後三時改メテ副領事及居留

民代表十五名ヲ同伴公式ニ訪艦シ遺骨ニ敬弔艦長ニ敬意

ヲ表セリ特務艦石廊艦長朝倉大佐及龍田丸船長事務長等

モ同時ニ訪艦敬弔セリ米國側ヨリ縣知事陸海軍司令官及

市長夫々午前中訪艦遺骨ニ敬弔ス尙龍田丸ハ當日「アス

トリア」ニ先立チ入港齋藤大使未亡人及令嬢等ハ同船甲

板上ヨリ軍艦ノ入港ヲ迎ヘラレ總領事官邸ニテ休憩後午

後二時半本官妻御供申上ケ「アストリア」ヲ訪問遺骨參

拜後艦長ノ接待ヲ受ケラレタリ

同夜北澤書記官ハ「アストリア」乗組士官三十四名ヲ非

公式ニ剝焼ニ招待セリ

(二)<sup>(2)</sup>五日午前九時「ターナー」艦長北澤書記官同伴ニテ答禮

ノ爲本官ヲ來訪ス正午本官ハ「ターナー」艦長以下「ア

ストリア」士官十五名ヲ主賓トシ米人側縣知事陸海軍司

令官ヲ始メ有力官民並ニ日本側有力者ヲ合セ約九十名ヲ

「ローヤル、ハイヤン、ホテル」ニ招待シ午餐會ヲ開

催セリ午後四時四十五分當館館員並ニ三家族一同訪艦敬弔

故大使ト親交アリタル「ギューリツク」博士之ニ同行セ

リ

尙目下開期中ノ「ハワイ」縣上院ハ齋藤大使ノ逝去ヲ深

ク哀悼シ花環ヲ靈前ニ供フル趣旨ノ決議ヲ爲シ且休會ス

(三)六日午後三時上院議長訪艦花環ヲ供ヘ敬弔セリ四時「ア

ストリア」横濱向ケ出港驅逐艦ノ敬送禮砲ノ發射ハ入港

時ト同様海軍飛行機六機又敬送ス

本官館員並ニ家族一同ハ在留民ト共ニ棧橋ニ整列敬送セ

リ

(四)「アストリア」寄港ニ關シ邦字新聞ハ素ヨリナルモ英字

紙等モ悉ク故齋藤大使ノ人格並ニ其ノ日米國交ニ貢獻セ

ル功績ヲ賞讃スルト共ニ深ク敬弔ノ意ヲ表セル社説ヲ掲

ケ日支事變ニ伴フ對日反感ヲ一時全ク忘レタルカノ觀ヲ

呈シタリ

在米大使ヘ轉電セリ

~~~~~

1201 昭和14年4月17日 昭和天皇より
ルーズベルト米国大統領宛(電報)

故齋藤大使の遺骨送還に謝意を表した昭和天

皇の米国大統領宛親電

東京 4月17日発

President of the United States, Washington.

I am sincerely grateful to You for the deep sympathy shown by You and by the Government and people of the United States on the death of My Ambassador Hiroshi Saito, and particularly for Your courtesy and thoughtfulness in providing the U.S.S. Astoria for the transportation of his ashes to Tokyo. This kind act profoundly moves Me not only as a symbol of the esteem in which the late Ambassador was held in Your country but also as a proof of the unchanging friendship which You entertain towards Japan.

Now informing You that the Astoria has to-day successfully fulfilled her mission, I take this opportunity to assure You of My heartfelt thanks for all Your kindness and at the same time for the services rendered by the officers and crew of the Astoria.

HIROHTO.

故齋藤駐米大使の遺骨送還
(セ 記)

米國大統領閣下へ御禮電

齋藤大使ノ逝去ニ對シ貴大統領並貴國官民ハ熱誠ナル同情ヲ表示セラレタルノミナラス今次特ニ軍艦アストリアヲ派シ其ノ遺骨ヲ本邦ニ送還セシメラレタル貴大統領ノ殊遇ト配慮トハ故人ニ對スル敬意ト我國ニ對スル友誼ノ表象トンテ朕ノ感銘措ク能ハサル所ナリ

同艦力其ノ使命ヲ完成セラレタルニ方リ朕ハ同艦乗組員一同ノ勞ヲ多トスルト共ニ茲ニ閣下ニ對シ重ネテ深厚ナル敬意ヲ致ス

昭和十四年四月十七日

御名

米國大統領閣下

~~~~~

1202 昭和14年4月18日

故齋藤大使葬儀における在本邦グル一米国大使の弔詞

HIROHTO.

故齋藤博駐米大使葬儀ニ於ケル駐日米國大使「ジョセフ・グルー」氏ノ弔詞(四月十八日)

前駐米日本大使齋藤博氏ノ薨去ニ對シ私ハ米國大統領ト米國民ノ名ニ於テ日本國民ニ對シテ深甚ナル哀悼ノ意ヲ表ス

ルモノテアリマス故大使ノ御遺族ノ御心中ヲ御察シテ衷心カラ御同情申上クル次第アリマス。御遺族ノ方々竝ニ故大使ノ友人達ノ哀愁ハ、亞米利加ニ於ケル故大使ノ多數友人等ノ共ニ配ツ所テアリマス。

故大使ハ日米兩國間ノ友好増進ノ爲、ソノ最善ノ努力ヲ盡サレ、遂ニソノ偉大ナル目的ノ爲ニ、恰モ軍人カソノ職ニ殉スル如ク最后ノ崇高ナル奉仕ヲ致サレタモノテアリマス。

故大使ハ米國ニ在任中、日米兩國ノ間ニハ互ニ融和シ得ナイ利害ノ相違ハ存在セヌトノ根本的建前ヲ以テソノ任務ニ當ラレタノテアリマス。而シテソノ本國政府ニ對スル忠誠ニ於テ微塵モ缺クルコトナク又ソノ仕事ノ效果ニ於テ少シモ減スルコトナシニ、日本ト大使カ愛セラレタ米國トカ永遠ニ親和ノ關係ニアルヤウ懸命ナ努力ヲ捧ケラレタノテアリマス。

故大使ハソノ滯在セラレタ國ヲ非常ニヨク理解セラレ、無數ノ米國人ノ友人ト共通ノ感情ヲ配タレ、是等ノ友人モ亦

故大使ノ友好的情誼ヲ深ク多トシテ心カラコレニ報イタノテアリマス。

故大使ノ如ク實ニヨク米國ノ事情ニ通曉セラレタ外國人ハ洵ニ少數テアリマス。故大使ノ卒直ニシテ解放的ナ舉措進退、ソノ誠實、人々ノ心暗雲ニ閉サレタトキ一道ノ光明ヲ投スル輕妙ナル諧易ト友情トハ總ヘテノ人ニ敬慕ノ念ヲ抱カセ之カ爲故大使ノ任務遂行上ニ寄與スル所多大ナルモノカアツタノテアリマス。

齋藤博ノ名ハ政治家トシテ、教養アル紳士トシテ、將又、誠心誠意祖國ニ仕ヘタ熱烈ナル愛國者トシテ、日本外交史上永ヘニ薰シク芳香ヲ放ツテアラウ。ト同時ニ、米國民ノ心ニ永遠ニ生キルテアリマセウ。

私ハ大使ノ時ナラサル薨去ニ對シテ、其ノ靈前ニ深厚ナル哀悼ノ裡ニ、私ノ深キ敬慕ト、故大使ノ協力的且ツ建設的ナル御努力ニ對スル感情ト、私ノ哀惜ノ意ヲ致ス次第テアリマス。

ADDRESS AT THE FUNERAL OF HIROSHI SAITO, LATE JAPANESE AMBASSADOR TO THE UNITED STATES, AT

## THE HONGANJI TEMPLE.

April 18, 1939.

In the name of the President of the United States and of the American people I express to the Japanese nation profound condolences in the death of Hiroshi Saito, late Ambassador of Japan to the United States. To the Ambassador's family, our hearts go out in warmest understanding and sympathy. Their sorrow and that of his Japanese comrades is deeply shared by his many friends in America where he gave the best that he had to give in the interests of Japanese-American friendship, and finally rendered the last noble service of devotion to that great cause, as a soldier lays down his life in line of duty.

In all his work in America he proceeded on the fundamental assumption that there is no irreconcilable divergence in the interests of our two nations, and without being in any minutest degree the less loyal to his Government or less effective in its service, he labored whole-heartedly to the end that his country and the America he had come to love should remain forever in concord. He intimately understood the country of his residence

and felt a common bond of sympathy with his numberless American friends who highly appreciated and warmly reciprocated that friendship. Indeed, he knew our country in a sense that very few foreigners have ever come to know it. His frank and open manner, his sincerity, his keen sense of humor which lightened the darkest days, and his camaraderie endeared him to all and contributed to the effectiveness of his ambassadorship.

As a statesman, a cultured gentleman and a devoted patriot who served his country well, Hiroshi Saito's name will live in the annals of Japanese diplomacy as it will live in the hearts of the American people. It is with deepest personal sorrow that I lay before him the homage of my respectful admiration, my grateful appreciation of his cooperative and constructive work, and my grief at his untimely passing.

黒 査 本文書は、昭和十四年十一月、外務省作成「外務省公報集」第十八輯より抜粋。

~~~~~

昭和14年4月18日 在米国堀内大使より
有田外務大臣宛(電報)

**故斎藤大使遺骨の東京到着に関する米国紙報
道振りについて**

ワシントン 4月18日後発

本省 4月19日後着

~~~~~

紐育へ郵送セリ

第三一一號  
十七日紐育「タイムス」ハ一欄餘二亘リ「バイヤス」ノ齋

藤前大使遺骨東京着ノ詳報ヲ掲ケ居レル處右ハ米國今次ノ  
行爲ハ日本國民一般ニ高ク買ハレ國民的感謝運動起ラント

シ中ニハ誤ツテ米國人ハ日支紛争ニ關スル見解ヲ改メタリ  
トノ印象ヲ懷クモノスラアリテ其情景ハ心ヲ打ツモノアル

旨傳ヘ十八日同紙社説ハ本件ニ關シ米國ノ執リタル措置ハ  
齋藤前大使一個人ニ對スルモノニシテ政治的ノ意味ナシ米

國ハ目下歐洲問題ニ忙殺サレ居ルモ支那ニ對スル同情ハ失  
ハス吾人ハ日本人ノ正當ナル發展ニ對シテハ成功ヲ祈ルモ  
日本ノRuling Cliqueカ支那ヲ征服スルコトニ對シテハ失敗  
ヲ祈ルト述ヘ又同日華府「スター」社説ハ日本國民ノ米國  
ニ對スル感謝ノ念ノ深甚ナルハ大震災當時米國ノ救援ニ對

昭和14年4月21日 ルーズヴェルト米國大統領より  
昭和天皇宛(電報)

**故斎藤大使遺骨送還に関する昭和天皇親電く  
の米國大統領返電**

付記 右和訳文

ワシントン 4月21日前11時35分発

東京 4月22日前5時30分着

His Imperial Majesty Hirohito, Emperor of Japan, Tokyo.

Your Majesty's thoughtful message on the occasion of the completion by the U.S.S. Astoria of its mission is very much appreciated. I appreciate also the spirit in which Your Majesty and the people of Japan have regarded the action of the Government of the United States in providing an American

シテ示セルニ比スベク「パナイ」號事件ニ際シテ現ハレタル日本國民ノ淳朴サヲ再ヒ示シ居レルカ米國民力日支事變又ハ條約違反ニ對スル反對ヲ緩和セリト結論スルコトハナル誤ナリト論シタリ

cruiser to convey to Japan the remains of the late Japanese Ambassador to this country, Mr. Hiroshi Saito, and the cordial and impressive reception accorded in Japan to the officers and men of the Astoria.

Franklin D. Roosevelt.

The White House, S.D.Washington D.C., 21/4/1939, 11.35.m.

Kunaisyo, 22/4/1939, 5.30.m.

アストリア卿に対するわが方の招宴希望を米  
国艦隊司令官が謝絶につけ

(付  
記)

米國大統領閣下御答電

我國軍艦アストリアカ其ノ使命完了ニ方リ陛下ヨリ寄セラ

レタル懇電ハ予ノ感佩ニ堪ヘサル所ニシテ同時ニ我國駐劄  
貴國大使故齋藤博氏ノ遺骨送還ノ爲我巡洋艦ヲ派遣セル我  
合衆國政府ノ處置ニ關シ陛下竝貴國民力抱懷セラレタル眞  
意ト貴國ニ於テ我アストリア乗組將兵一同ニ與ヘラレタル  
懇篤ニシテ熱誠ナル款待トニ對シ予ハ茲ニ感謝ノ意ヲ表ス

マクンクリン、ナニー、ルーズヴェルト

東京

大日本帝國天皇(御名)陛下

千九百三十九年四月二十一日午前十一時三十五分

華盛頓ホワイト・ハウス發

一一一〇午前五時三十分宮内省內局著

~~~~~

1205
昭和14年4月28日

在上海三浦(義秋)總領事より
有田外務大臣宛(電報)

上 海 4月28日後發

本 省 4月28日夜着

第一一七號

貴電合第八三四號ニ關シ(「アストリア」ニ表敬方ノ件)

當方ニ於テハ夙ニ艦隊側ト打合ノ上艦隊司令長官及森島參
事官ノ名ニ於テ五月二日及三日士官以上ノ宴遊會及下士以
下ノ戰跡案内等歡迎計畫ヲ樹テ便宜當地米國總領事館ヲ通
シ「ア」號側ノ都合問合方依頼シ置キタル處數日前ニ至リ
同總領事館ヨリ漢口ニ在リタル在支米國艦隊司令官歸滬シ
タルヲ以テ我方ニ於テ同司令官ト直接折衝方然ルヘキ旨申
越シ來レリ

依テ海軍側ニ於テ同司令官ト聯絡ヲ執リタル處同艦ノ來滻
ハ非公式ナルノミナラス日本ニ於テ既ニ充分ノ歡待ヲ受ケ
タルヲ以テ遠慮シタキ旨申出アリタルニ依リ前記計畫ヲ中
止スルコトトシタリ尙信スヘキ筋ヨリノ情報ニ依レハ米國
總領事館側ハ本件ニ關シ本國政府トモ電照シタルヤノ趣ナ
リ

御見込ニ依リ香港及馬尼刺ヘ轉電アリタシ

~~~~~